

12
預言者たち
聖徒伝 146

「主の道は平ら
己の不義に躓くな」

ホセア書13～14章

イスラエルの回復

アウトライン

0. イントロダクション

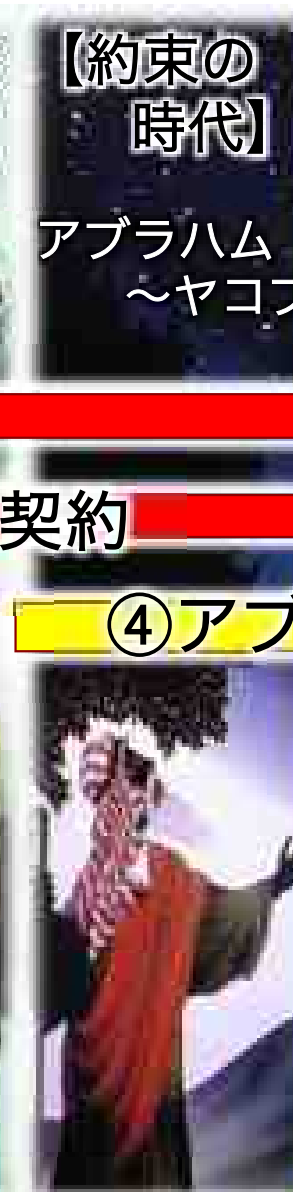
I. イスラエルの産みの苦しみ 13章

II. イスラエルの最終的回復 14章

III. まとめと適用

わたしのつまずきを取り除こう





【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル
王国時代
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

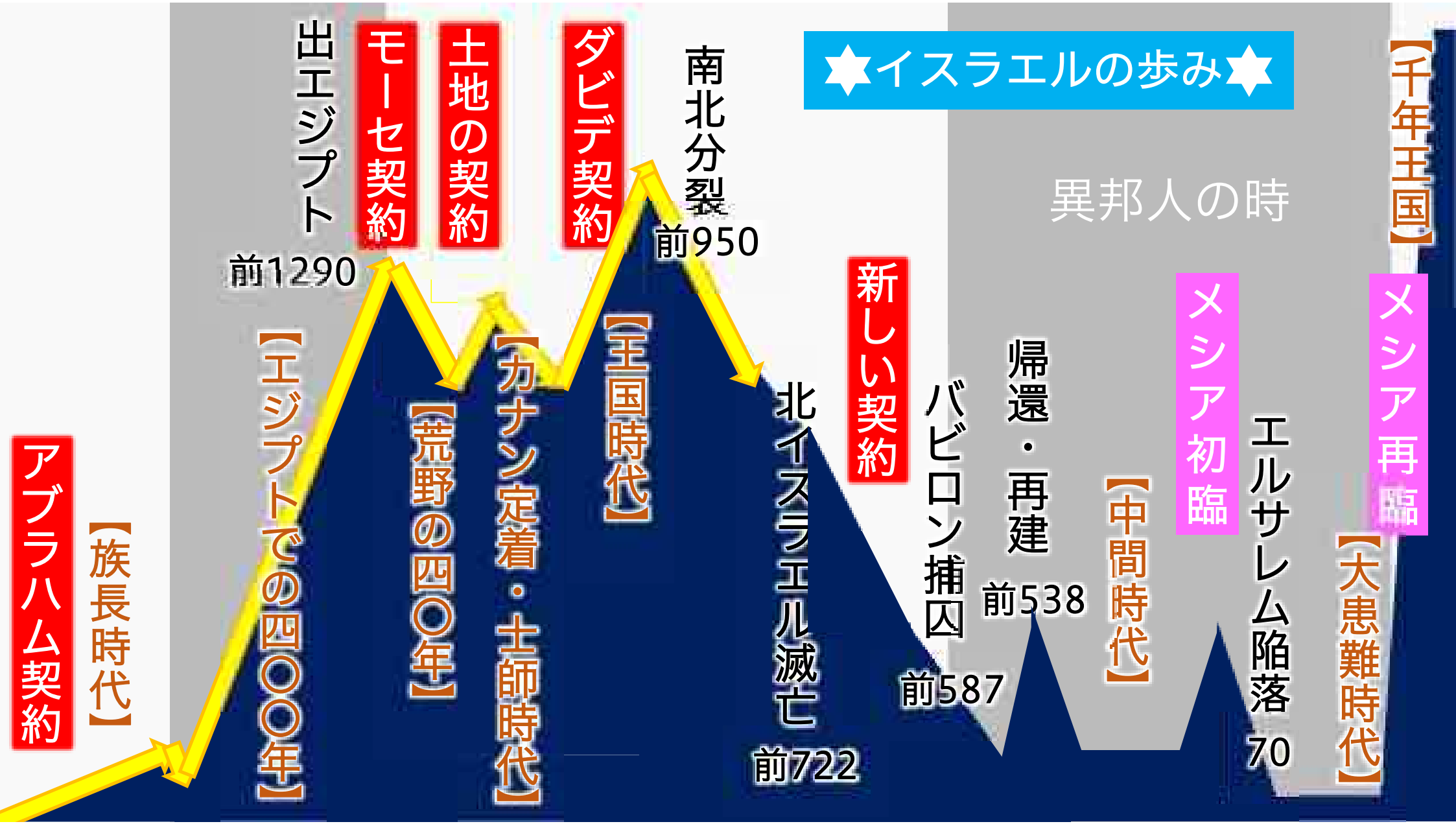
どの時代も
神の約束が礎にある

過去

現在

未来

★イスラエルの歩み★



アブラハム契約

【族長時代】

前1290

【エジプトでの四〇〇年】

出エジプト

モーセ契約

【荒野の四〇年】

土地の契約

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

前950

南北分裂

北イスラエル滅亡

前722

新しい契約

前587

バビロン捕囚

前538

帰還・再建

【中間時代】

メシア初臨

エルサレム陥落

70

異邦人の時

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

ホセア書とは？

■ **著者** … **ホセア** = “主は救う”

父はベエリ = “我が満足” … 父も信仰者。

■ **出身・活動の場** … 北イスラエル

■ **時代** … ヤロブアム2世 (北王国) ~

(南は、ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤ)

■ **背景** … 偶像崇拝に染まり、裁きは間近に!!



ホセアは身をもって、主の哀しみと憐れみ、永遠の愛を伝えた

ホセア書の構成

① 姦淫の女との結婚 (1~3章)

姦淫の女の不義と復縁、猶予期間へ

① 姦淫の罪

② イスラエルへの裁き (4~13章)

数々の姦淫の罪の告発。
一時的な回復もあるが、
終末まで根本的な状況は同じ。

② 懲らしめ・猶予

③ 終末の裁き

③ イスラエルの回復 (14章)

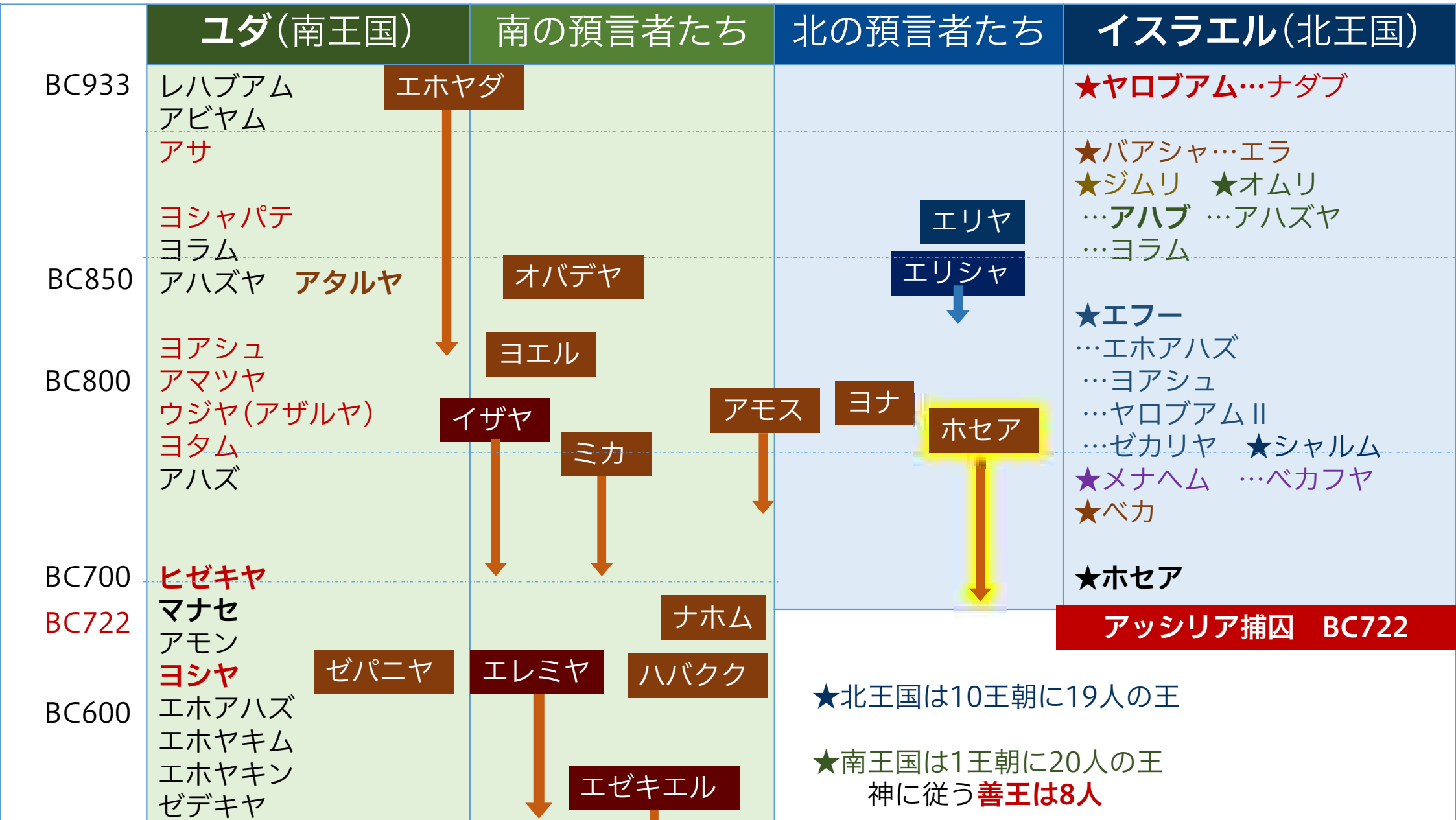
永遠に主の妻となる

④ 復縁・回復



【預言の内容は、神の目から見れば一つのこと】





北王国 イスラエル

南王国 ユダ

エリシャ

ホセア

【エフー王朝】

アモス

エフー

ベカ

20年

エホアハズ

アツシリア捕囚①

28年

ヨアシュ

17年

ヤロブアムⅡ

ゼカリヤ

6ヶ月

16年

ヤロブアムⅡ

41年

シャルル

1ヶ月

南北時代の最盛期

ヨナ

メナヘム

10年

混沌の時代

ヨアシュ ♡

40年

アマツヤ ♡

29年

ウジヤ ♡

ウジヤ ♡

ヨタム

ヨエル

52年

イザヤ



Ⅰ. イスラエルの産みの苦しみ

ホセア書13章

イスラエルのネゲブの荒野

裁き エフライムの罪 ホセア13:1

「エフライムは震えながら*語ったとき、イスラエルの中であがめられた。しかし、バアルのことで咎ある者となって死んだ*。」

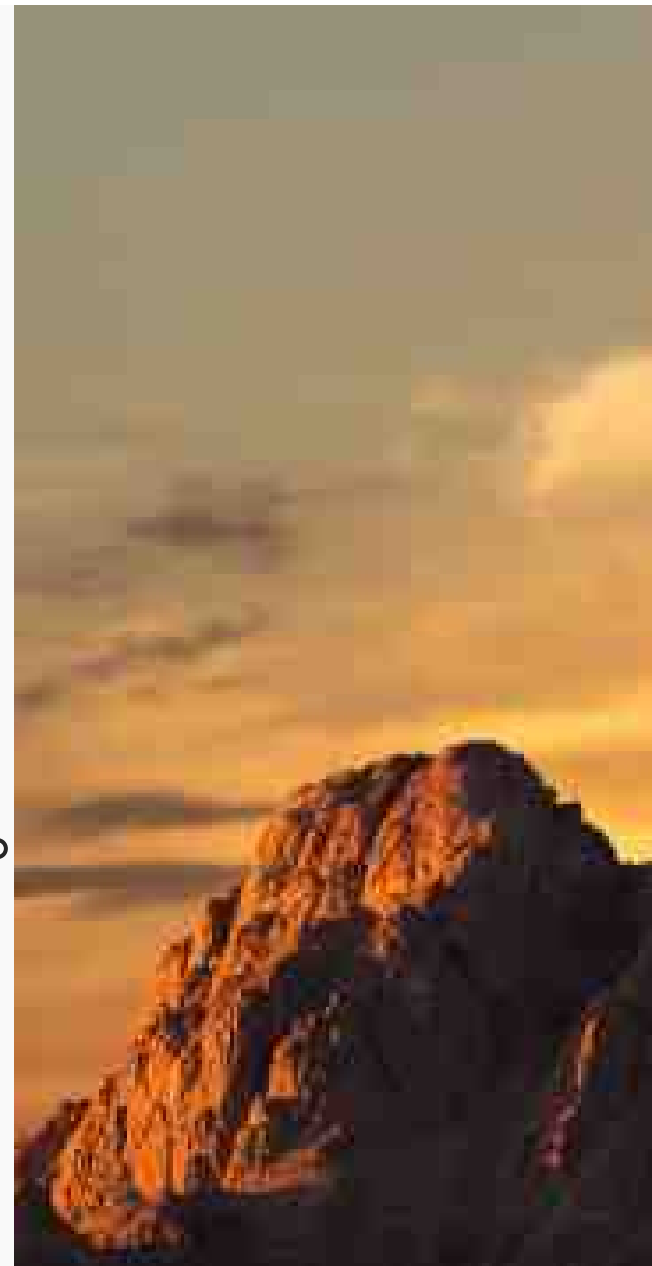
*主への恐れを持って語った。

■北10部族の筆頭だったエフライム族。

➡神に背き、断絶され、待つのは厳しい裁き。

*死とは、“神との断絶”

➡不信仰者は、神の目には死んでいる。



裁き 偶像礼拝の行く末 ホセア13:2

今、彼らは罪を重ね、**自分のために***銀で鑄物の像を造り、**自分の考え***で偶像を造った。これはみな、職人のわざ。彼らはこれについて言う。

『人を献げる者たちは*、子牛に口づけせよ』と。

*偶像礼拝の本質は、人の**利己的**な欲望。

己の欲望を肯定し、満たすのが偶像礼拝の魅力。

***金の子牛礼拝で、人身供養まで行われていた?!**

■後、ユダもマナセ王の時代、同等の罪に陥り、バビロン捕囚の裁きが決定してしまう。



裁き 吹き散らされる民 ホセア13:3~4

それゆえ、彼らは朝もやのように、朝早く消え去る露のようになる。打ち場から吹き散らされる籾殻のように、また、穴から出る煙*のようになる。

しかしわたしは、エジプトの地にいたときから、あなたの神、【主】である。あなたはわたしのほかに神を知らない*。わたしのほかに救う者はいない。

*かまどの穴から立ち上る煙

*霊肉魂によって知ることができるのは、実体ある唯一の神だけ。



裁き 飼い主を忘れた羊 ホセア13:5～6

このわたしは荒野で、干ばつの地であなたを知っていた。

しかし牧草で満腹したとき*、彼らは満ち足り、心は高ぶり、**そうしてわたしを忘れた。**

わたしは彼らに対して獅子のようになり、豹のように道端で待ち伏せる。

*羊にたとえられるイスラエル

■ 約束の地で王国を築き、繁栄したイスラエル。
ヤロブアム二世の北王国は絶頂を極めたが…。

飼い主を忘れた
羊の運命は？



裁き 猛獣に裂かれるように ホセア13:8~9

子を奪われた雌熊*のように彼らに襲いかかり、
彼らの胸をかき裂いて、その場で雌獅子のように
食らう。野の獣は彼らを引き裂く。

イスラエルよ、あなたは滅ぼされる。あなたの
助け手*である、わたしに背いたからだ。

*最も危険。小熊を見たら、即刻立ち去るべし。

■獅子も豹も熊も、身近な猛獣だった。

→長年の荒廃で猛獣も棲みつかない地に!!

*エゼル …三位一体の神の聖霊の働きが“助け手”



裁き 重ねられた王の不義 ホセア13:10~11

では、あなたの王はどこにいるのか。すべての町のうちで、あなたを救う者は。あなたをさばく者たちはどこにいるのか。かつてあなたが『私に王と高官たちを与えよ*』と言った者たちは。

わたしは、怒ってあなたに王を与え、また憤ってこれを奪い取る。エフライムの不義は束ねられ、その罪は蓄えられている。

*真の王である神を拒み、自分たちの王を欲した。

➡その結果が、早々と神に背いたサウル王。

■王を替えるごとにイスラエルは罪を重ねた。



サマリアの遺跡

患難 子を産む女の苦しみ ホセア13:13

子を産む女の激しい痛み*が彼のところに来るが、彼は知恵のない子で*、時が来ても、母の胎から出て来ない。

*イスラエルの苦しみを示す。

➡究極が大患難時代。

(イザヤ13:9,エレミヤ12:21,黙12:2)

*神の知恵がない王

➡神の知恵そのものである真実の王が、
来たるべきメシア。イエス・キリスト



患難 死からの贖いへの途上 ホセア13:14

わたしはよみの力から彼らを贖い出し、死から彼らを贖う*。死よ、おまえのとげはどこにあるのか。よみよ、おまえの針はどこにあるのか。あわれみはわたしの目から隠されている*。

■ 裁きと救い、怒りと憐れみが同時に語られる。

→ 空前絶後の災厄を通過しながら滅びは免れ、

民族的回心、救い* に至るのが大患難時代。

■ 死の勝利は約束され、メシアが完全に実現する。

しかし、今なお産みの苦しみの時が続いている*。



裁き 裁きの息 ホセア13:15~16

彼は兄弟たちの中で栄えている。だが、東風*が吹いて来て、【主】の息*が荒野から立ち上り、水源は涸れ、泉は干上がる。それはすべての尊い器がある宝物倉を略奪する。

サマリアは咎ある者となる。自分の神に逆らったからだ。彼らは剣に倒れ、幼子たちは八つ裂きにされ、妊婦たちは切り裂かれる。」

*乾季をもたらす熱風。アッシリアをも指す。

*“ルーアツハ” …息、風、霊。

➡アダムに命をもたらしたヤハウエの息が、イスラエルに厳しい裁きをもたらすことに。





II. イスラエルの最終的回復

ホセア書14章

レバノン杉の古木

促し 立ち返れ、イスラエル ホセア14:1

イスラエルよ。あなたの神、【主】に立ち返れ*。
あなたは自分の不義につまずいたのだ。

あなたがたはことばを用意し、【主】に立ち返れ*。
主に言え。「すべての不義を赦し、良きものを受け入れてください。私たちは唇の果実*をささげます。」

*冒頭がこの言葉。“シヨーブ、イスラエル”

“シヨーブ”…向く。帰る。方向性を示す言葉。

ホセア書に23回。最多はエレミヤ書115回。

■ 姦淫のイスラエルの立ち返りを求めるホセア書。

*悔い改め。ここだけの表現。

誰のせいにもできない自分の不信仰



回復 癒やされる背信 ホセア14:3～4

「アッシリアは私たちを救えません。私たちはもう馬に乗らず*、自分たちの手で造った物に『私たちの神』と言いません。みなしごがあわれまれるのは、あなたによってです*。」

「わたしは彼らの背信を癒やし、喜びをもって彼らを愛する。わたしの怒りが彼らから離れ去ったからだ。」

*馬は軍事力の象徴 →自分の力を誇らない。

*みなしごとなったイスラエルの回復を求める。

(律法は繰り返し弱者の擁護を命じている。)



回復 生き茂るイスラエル ホセア14:5～6

わたしはイスラエルにとって露のように*なる。
彼はゆりのように花咲き、レバノン杉*のように
根を張る。その若枝は伸び、その輝きはオリーブ
の木*のように、その香りはレバノン杉のように
なる。

*恵みの象徴 …乾季に緑を潤すのが朝露。

*北方から輸入され、神殿の建材にも用いられた。

*イスラエルの象徴。生命力が強く、幹が倒れても、脇芽が生え、束ねられて太くなっていく。

オリーブ油は聖霊の象徴でもある。



オリーブの古木

回復 主の下での繁栄 ホセア14:7

その陰*に住むものたちは、穀物のように生き返り*、ぶどうの木のように芽をふく。その名声はレバノンのぶどう酒*のようになる。

*真実に神に仕える指導者たちの下、

イスラエルの民も主の恵みに満たされ尽くす。

*「一粒の麦死なずば…(ヨハネ12:24)」

■主の守りの内に、永遠に繁栄するイスラエル。

*この時代に知られていた高級ワイン。



ぶどうの新芽

回復 主から得る実 ホセア14:8

「エフライムよ。わたしと偶像との間に、**どうい
う関わりがあるか**。わたしが応え、わたしが世話
をする。わたしは**緑のもみの木***のようだ。わた
しから、あなたは実を得るのだ。」

*糸杉(口語、新共)

Ⅱコリント6:14~15

「不信者と、つり合わないくびきをともにしては
いけません。正義と不法に**何の関わりがあるで
しょう**。光と闇に何の交わりがあるでしょう。キ
リストとベリアルに何の調和があるでしょう。」

預言者の働きを着実に
継いでいるのが使徒



ガリラヤ湖畔の糸杉

回復 つまずかず、主の道を歩め ホセア14:9

知恵ある者はだれか。その人はこれらのことを悟れ。悟りのある者はだれか。その人はそれらのことをよく知れ。【主】の道は平らだ*。正しい者はこれを歩み、背く者はこれにつまずく。

*あなたは自分の不義につまずいた(14:1)

1ペテ2:7~8 したがってこの石(メシア)は、信じているあなたがたには尊いものですが、信じていない人々にとっては、「家を建てる者たちが捨てた石、それが要の石となった」のであり、それは「つまずきの石、妨げの岩」なのです。



人は、自分自身の
不信仰につまずく



Ⅲ. まとめと適用

わたしのつまずきを取り除こう

ホセア書のテーマを確認しよう

■ 姦淫の女を娶り、不貞に耐え、墮落した妻と復縁したホセア。主が与えた女性を愛し、激しい嫉妬の内にも、忍耐し、最後には悔い改めた妻と、愛し合う夫婦の関係を回復しただろう。

■ ホセアが身をもって示し、証ししたのは、イスラエルへの神の計画。イスラエルの姦淫の罪、裁き、悔い改めと回復がホセア書のテーマ。

■ 偶像礼拝に陥り、神を忘れたイスラエルは、滅ぼされ、約束の地を追われた。以降も、同じ過ちを繰り返しながら、今に至っている。

■ しかし、世の終わりの大患難時代、最後の厳しい裁きを通過して、イスラエルは回心し、再臨のメシアによって完全に回復される。

ホセア書 13章14節

わたしはよみの力から彼らを贖い出し、死から彼らを贖う。

死よ、おまえのとげはどこにあるのか。

よみよ、おまえの針はどこにあるのか。

あわれみはわたしの目から隠されている。

**主が、イスラエルを贖い出す時が来る。
しかしその前に、神の憐れみが隠される、大患難時代の裁きがある。**

コリント人への手紙第一 15章54～57節

そして、この朽ちるべきものが朽ちないものを着て、
この死ぬべきものが死なないものを着るとき、
このように記されたみことばが実現します。

再臨のメシアが
千年王国を
実現するとき!!

「死は勝利に呑み込まれた。」

「死よ、おまえの勝利はどこにあるのか。

解釈としての引用

死よ、おまえのとげはどこにあるのか。」

直接の引用

死のとげは罪であり、罪の力は律法です。

しかし、神に感謝します。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。

ホセアの預言が究極的に示す、メシア

「死のとげは罪であり、罪の力は律法です。Ⅰコリント15:56」

■ 罪あるすべての人には、死のとげ、罪が突き刺さっている。

■ 律法は、神が与えた恵みの約束。

→ しかし、罪人には、神の恵みすら毒になる。

律法は、罪人にはむしろ、罪を犯させる力となった。

■ イスラエルには、罪を贖う方が必要だが、人には不可能。

預言が示すのは、完全に神であり人であるメシア、主イエス。

十字架の主イエスが、罪を贖い、死に勝利された!!

主イエスの十字架を見据えよう

■ 屈辱と見せしめの十字架刑では、通りすぎる人々が侮蔑できるよう、受刑者は、人々と変わらぬ目線の高さで釘づけられた。

→ 十字架の贖いは、見上げるのではなく、見据えるべきもの。

■ 主イエスが追われたその罪は、私が負うべきだったもの。

しかし、メシアは誰より身を低くされ、私の罪を負ってくださった。

■ 主イエスの十字架によって、促されるのは、

主が負ってくださった、私自身の罪を見据えることだ。

■ 誰もが目を背ける自分自身の罪に、向き合うことができるのは、罪ゆるされたクリスチャンだけに与えられた力だと知ろう。

栄光の主を見上げよう

■ 死んで葬られた主イエスは、死を打ち破って復活された。
栄光の姿で昇天し、神の右の座で大祭司のとりなしをされている。

■ 主イエスの十字架を見据える時、
痛みと共に、深い憐れみが胸に染みる。
復活の栄光の主を見上げ、讃える時、溢れ出てくる喜びがある。
再臨の主を待ち焦がれて祈るなら、揺るがぬ希望が据えられる。

■ 十字架で死に勝利されたキリストは、やがて死とよみすら滅ぼす。
主の栄光に包まれ尽くした、完全に新しい世界が待っている。

すべての預言を成就される約束の神が、私たちの存在の基盤だ。

★ 主の道は平ら わたしのつまずきを取り除こう ★

■ 自分の罪を見据える者は、主イエスの十字架を見るだろう。己の罪を認めることが、救いを受け入れる入口だ。

■ 神につまずくと言う者は、倒れた主イエスの御体を蹴飛ばしている。他者につまずいたと言うクリスチャンは、己の罪につまずいている。

■ 他者を通して突きつけられるのは、自分の中にある同様の罪だ。砕かれる度に、主への信頼を深めていこう。ただ主に委ねよう。私の心の領域を、聖霊が、あまねく支配されていくように。

**主に立ち返るなら、このつまずきすらも有益だ。
ただ主を愛し、ただ主を誉め讃えよう。**

ホセア書 14章1,9節

あなたの神、【主】に立ち返れ。
あなたは自分の不義につまずいたのだ。

知恵ある者はだれか。その人はこれらのことを悟れ。
悟りのある者はだれか。その人はそれらのことをよく知れ。

【主】の道は平らだ。
正しい者はこれを歩み、背く者はこれにつまずく。

「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。

わたしは、まぎれもない罪人です。この罪をゆるしてください。

わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

②墓に葬られ、

③三日目に復活したこと、を信じます。

信じてなお、日々、自分自身の罪につまづく私がいまいます。

愚かさに打ち砕かれる、心貧しい私の、なんと幸いなことでしょう。

主が永遠に、私を癒してくださいました。

永遠の御国に入るその時まで、喜んで日々の使命に用いられます。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」